

## 別記様式（第4条関係）

## 会 議 録

会議の名称	令和5年度 第2回 宍粟市健康づくり推進協議会	
開催日時	令和5年11月24日（金）	
開催場所	宍粟市役所 北庁舎 4階 401会議室	
議長（委員長・会長）氏 名	金谷 政則	
委員 氏 名	（出席者） 金谷政則、垣内佑亮、小松敬子、澤田陽子、井本 孝、鎌田恵司、福田ちづ子、浅田修一、岡田ゆかり、一坪ゆか、伊藤政恵、千歳万里、田路真知子	（欠席者） 織金麻裕、栗山初美
事務局 氏 名	健康福祉部：橋本部長 健康福祉部保健福祉課：大谷次長兼課長、堂田副課長・三宅係長	
傍聴人数	0人	
会議の公開・非公開の区分及び非公開の理由	公開	（非公開の理由）
決定事項	（議題及び決定事項） 1. 開会 2. あいさつ 3. 議事 ◆健康しそう 21（第3次）及び第2次宍粟市食育推進計画中間評価のためのアンケート調査について 4. 閉会	
会議経過	別紙のとおり	
議事録の確認	（委員長等）  _____ 委員長 金谷 政則	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
事務局	<p>本日は宍粟市健康づくり推進協議会にご出席をいただきましてありがとうございます。</p> <p>この会議の進行をさせていただきます保健福祉課の大谷と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日の出席者数について報告いたします。あらかじめ、織金委員、栗山委員から欠席の報告を受けておりますので、出席者 13 名、欠席者 2 名であります。本協議会は、健康づくり推進協議会条例第 6 条第 2 項により、委員の半数以上の出席で開催できるとなっております。本日も半数以上の、多くの方々の参加をいただいております。ありがとうございます。</p> <p>◆資料の確認</p>
事務局	<p>それでは、令和 5 年度第 2 回宍粟市健康づくり推進協議会を始めさせていただきます。</p>
部長	<p>皆様こんにちは、健康福祉部の部長の橋本でございます。令和 5 年度のこの第 2 回健康づくり推進協議会の開会にあたり、皆様には大変お忙しい中、出席をいただきましてありがとうございます。宍粟市では、健康寿命の延伸や心の健康への取組、食育への関心向上のこともありまして、市における健康づくりや食育に関する施策をより効果的に進めていくため、先ほど進行のほうからありましたように、2019 年の 3 月、平成 31 年 3 月となりますが、第 3 次となります健康しそう 21、そして第 2 次宍粟市食育推進計画を一体的に計画を編集し冊子として発行し、現在も事務執行に努めております。この計画は、10 か年計画としておりますが、計画策定から中間期である 5 年を迎えること、また、国による動向の変化もあります。この 5 年度と 6 年度にかけて、市民からのアンケートをいただき、市民の意向の調査、また、計画進行しております中での評価等を行いながら、皆様のそれぞれのお立場でのご意見をいただき、計画の中間見直しを取り組んでおります。当市では、健康と福祉を育てる、安心のまちづくりの実現、健康寿命の延伸と生活の質の向上を目指しており、また、食を通じた心身の健康の保持、生涯にわたって生き生きと暮らせるまちづくりに向けまして、現在取り組んでおり、この第 2 回会議、また、計画の見直しにあたり、皆様のご意見をいただきながら、新しい道しるべとなる中間見直しの計画を策定し、今後 5 年間、宍粟市として事業展開してまいりたいと思います。本日も大変お世話になりますが、よろしくお願いいたします。開会にあたりご挨拶とさせていただきます。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。本日の協議会での会議録を事務局において作成しております。その関係でボイスレコーダーで記録をさせていただいております。会議録はそれに基づいて作成し、またホームページにも掲載をさせていただきます。第 1 回目もそのようにさせていただいております。また内容につきましては皆様に郵送で送らせていただいております。確認をさせていただきます。修正があれば、事務局と会長様と相談させていただいて、最終的なものにつきましてホームページに掲載させていただきます。</p> <p>次に 3 番の議事に移らせていただきます。議事につきましては条例第 5</p>

会長	<p>条第3項で、会議の議長は会長ということで規定をされておりますので、この後の進行は金谷会長より会議の進行をよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは失礼します。医師会の代表としてまいりました金谷です。1回目のときは、ちょうどコロナがまた勢いをもどしつつあるんじゃないかと心配しておったんですけども、コロナについては多少ありますけれども、この事業の推進については、あまり影響がないだろうという状況で、あとインフルエンザのほうが少し学校なんかでも流行してますけども、この事業については、そんなに大きな問題もなく前に進めていけるような状況だと考えております。今日のところは、健康しそう21及び第2次宍粟市食育推進計画の中間評価を行い、そういうアンケート調査いただいた結果について、いろいろ教えていただき討議していただいて、それについて意見を伺いたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。それでは健康しそう21第3次及び第2次宍粟市食育推進中間評価のためのアンケート調査結果について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>資料は先に送らせていただいております、健康しそう21及び第2次食育推進計画の中間報告書原案というものをご覧ください。資料に沿って説明させていただきます。まず開いていただきまして2ページになります。健康しそう21第3次の親子の健康づくりからご覧ください。数値目標と書いております表がございます。この表に沿って今回のアンケート結果を説明させていただきます。まず、評価指標が1番左にあります。その次にあります策定実績値、こちらは計画策定当初、平成29年度における数値を示しております。その右側実績値令和5年度、こちらが今回のアンケート等の結果となっております。右側目標値令和10年度、こちらの数値は計画策定時に皆様にご協議いただき、設定した数値を示しております。1番右の評価につきましては、現在事務局で検討しているところでして、修正が必要な箇所もございますのでご了承ください。親子の健康づくりについては、この質問は今回のアンケートではなく、健やか親子21という国が示しておりますアンケートがありまして、乳幼児健診の際にアンケートをとっており、その数値を載せております。1番については、上昇しておりますが、2番のこの地域で今後も子育てをしていきたいと思う割合の増加、こちらについては数値としては少し下降しております。全国と比べると割合が高い数値にはなっております。この目標値が、計画策定当初100%としておりましたが、100%を目標値とすることについて庁内の会議でも、妥当性についてご意見をいただいておりますので、こちらの目標値について皆様にもまたご意見をいただきたいと考えております。この表の前後にあります分析評価結果、評価による課題、こちらはまだ検討中になりますので、内容に少し修正が必要な箇所もありますが、こちらについてももしご意見ございましたら本日いただきまして、また次回以降に検討していきたいと考えております。</p>
事務局	<p>引き続きご説明させていただきます。よろしく申し上げます。4ページのほうをお開けください。高齢者の健康づくりで、フレイル予防に関してなんですけれども、このフレイルという言葉は令和3年から県が推進している形になっておりまして、策定時にはまだ入れられてなかったもので、実績値というものは入れておりません。今回のアンケートの結果の令和5年</p>

度の実績値につきましては、20歳以上の男性が21.3%、女性が36.6%という形になります。フレイル予防に関しましては、65歳以上の方の健康教育の機会があったり、いきいき百歳体操の方でフレイル予防ということで、アンケートをとったり指導したりとかしている関係で、高齢者に関しては担当のほうも、周知が大分進んでいるんじゃないかということなんですけれども、20歳以上の方のアンケートをとっておりますので、実績値としましては県よりも上回っているようですけれども、こういう数値となっております。令和10年度につきましては、担当課のほうで協議しまして、男女ともですけれども40%を目標にしていきたいということで、10年度の目標値の案としては40%になります。令和3年、4年に特定健診とかがん検診の来所者には、保健指導ということで配付をしておりますが、令和6年度についても、年齢に関係なく20歳以上の方に配付をしていって、言葉も意味もいい形で周知をしていきたいと考えております。グラフに関しては5ページのほうを参照ください。続きまして、7ページをお開けください。健康な生活を営むための生活習慣の維持向上ということで、まず①栄養・食生活に関してです。アンケートの結果としましては、肥満の人の割合の減少を年齢別、やせの人の割合の減少等をとっていったんですけれども、アンケートによると、令和5年度においては、肥満に関して減少にはならない、女性のやせの減少にならないということで、今回の評価として赤い三角(△)がついているのは目標値に達していなかったということです。あと、④の朝食を食べていない方に関して、高校生男女と20代女性が減っているということで、評価のところにも三角(△)を入れさせていただいております。数値に関しては、8ページにグラフを入れております。9ページに関しては1日2回以上主食主菜副菜をそろえて食べることがありますかということについて、グラフ化をしております。10ページをお開けください。10ページに関しましては、食品を購入するときや外食をするとき、栄養成分表を参考にしていますかということなんなんですけれども、下の課題に関してはまだ作成中ということで、文章を統一したり、一部抜けてるところもありますので、ただいま検討中ということになります。11ページをお開けください。②の身体活動運動に関してです。一つは日常生活における歩数の増加ということを目指しているんですけれども、歩数に関しては、今回の実績としましては減っているということで三角(△)になっております。運動習慣の割合に関しましては、再アンケート実施予定ということで、一部空欄がありまして申し訳ないです。12ページが日常生活の中で1日に平均どれくらい歩いているかということで、こういう形になっております。あと13ページ、お開けください。健康のために1日30分以上の運動やスポーツをしていますか、ということで、年代別ではやはり部活動、クラブ活動等をしている年代が多いような形になったり、地域差はあるということで、赤いよこしまで示している部分は、ほとんどされていない方ということで、運動やスポーツとなりますと、なかなかお仕事で体を動かされている方があらためてスポーツをするかということ、なかなかそうならず、また別の休養の方法をとられるのではないかというのが以前からお聞きしていますので、運動スポーツに関しては、こういう数値になるのかなというのが感想です。

続いて14ページをご覧ください。③休養、こころの健康になります。こちらについては修正がありますので、お伝えさせていただきます。まず表の1番上の目標値と実績値こちらが逆になっております。令和5年度のほうを実績値、令和10年度のほうを目標値に修正をお願いします。また評価指標、こちらが1番上の睡眠で休養が十分にとれていない人の割合の増加としておりますが、こちらが増加ではなく、減少に修正をお願いします。また2つ目、ストレスを感じる人がよくある人の割合の増加、こちらも増加から減少に修正をお願いします。こちらの実績については睡眠で休養が十分とれてない人の割合については20歳以上男女ともに増加をしております。評価としては目標を達成しておりません。ストレスについても20歳以上の男性については、やや減少しておりますが、女性については増加をしております。ストレスや悩みを感じたときに相談できる機関がある、または相談できる人がいる人の割合については、男女ともに増加をしております。次に17ページをご覧ください。③の喫煙になります。喫煙者の割合については、男性、女性ともに減少しておりますので評価としては丸(○)とさせていただきます。喫煙が健康に及ぼす影響について知っている人の割合。こちらは改善しているものが多いんですけども、早産、低体重児出産、こちらが29年度の実績値が37.1%から、今回31.5%になっております。こちらについては当初の目標を80%としておりまして、評価としては三角(△)をつけておりますが、現在していることとしては、母子手帳の交付時、妊娠届出の際に、喫煙者についての指導もですし、同居する方の喫煙についても、1人ずつお伺いをして指導ということをしておりますが、効果がこちらでは出ていないという現状になっておりますので、今後の対策について検討していきたいと考えているところです。また目標値についても検討をお願いしたいと思っております。次に19ページをご覧ください。⑤の飲酒になります。こちらはお酒をほとんど毎日飲む人の割合の減少で目標値を設定しておりますが、男性女性ともに増加をしております。評価としては三角(△)としております。また、1日に1合が適量ということを知っている人の割合は男女ともに増加をしております。休肝日を設けている人の割合の増加、こちらについても男女ともに増加をしております。どちらも評価については丸(○)とさせていただきます。次に24ページ、⑥歯と口腔をご覧ください。1番上の虫歯や歯周病になると糖尿病などになることを知っている人の割合の増加、こちらについてはやや増加しておりますが、まだ目標値までは大分遠い状況となっております。また子どもさん、3歳児、12歳児のう歯の本数の減少、いない子の割合、こちらについても改善傾向にあります。定期的に歯科検診を受けている人の割合についても増加傾向にあります。80歳代で自分の歯が20本以上ある人の割合は今回抽出ができておりませんので、また次回以降にお示ししたいと思っております。続いて27ページをご覧ください。⑦の健康管理になります。特定健診の受診率や保健指導の実施率についてこちらで示しております。この中で、上から3つ目、内臓脂肪症候群該当者、内臓脂肪症候群予備軍の割合の減少というところをご覧ください。こちらは予備軍について、29年度の実績が8.8%、令和4年度の実績が8.0%、目標値は水色で7.8%と示しております。こちらについては当初計画の目標値は9%

事務局	<p>としております。ただ今回の実績が9%を既に下回っているため、当初計画の9%から7.8%に修正の検討をしております、水色で示しております。この目標値についてもまた皆様にもご協議いただきたいと考えております。がん検診受診率については、計画策定当初から下がっているものが多いですが、目標値については県と同じく、今のところは50%としております。下回っているものが多いので三角(△)が多い状況となっております。</p> <p>28 ページ健康寿命に関してですけれども、これは統計の資料を実績値として、令和2年度ということであげさせていただいております。男性に関しては、健康でない期間が計算上やや長くなっている。あと女性に関しましては、健康でない時間がやや減っているということで、評価をさせていただいております。続いて29 ページ2次の食育推進計画の①の家庭、学校、地域、行政等が連携した食育の推進ということで、評価をさせていただいております。赤字のところが一番上食育という言葉や意味を知っている人の割合の増加に関しては、やや減少ということで三角(△)をつけておりました、あと、赤字のところの中段あたり、食事づくり、毎日参加している人の割合の増加というところに関しましては、この間の学校関係の会議の中でも、ご意見をいただいたんですけれども、毎日、食事づくりに参加するという自体、例えば、4、5歳児、小学5年生、中学2年生に関しては難しいので、それは参考値というか、アンケートの全体としてとったということなので、評価の仕方は考えていったほうがいいんじゃないかというご意見をいただいております。食生活改善推進員や地域ボランティアによる食育に関する活動している人の割合の増加に関しては、なかなか上がってないので周知をしていきたいと思っております。アンケートに関しては、30、31 ページ、32 ページ、33 ページ、34 ページまでは、その内容のアンケートになります。35 ページ、②災害時の食の備えの普及ということで令和5年度に関しまして、上がった理由として担当から報告があったのが、やはりコロナ禍で普段からの非常食の非常時の備えの大切さということを実感されたようです。いろんな災害等も発生しておりますので、目標値もまたもう少し担当としては数値ももっと上げたいというようなご意見もいただいております。続きまして37 ページです。食べ残しや食品が捨てられていることに関して、もったいないと覚めることがある人の割合の増加ですが、90%は超えてますが増加が見られなかったということと、あと、つくり過ぎや買い過ぎをしないよう心がけている人も増加しているので、今後、こういう食品ロスあたりは取り組んでいきたいと考えております。41 ページをご覧ください。地産地消と食と農の積極的なかわりの推進ということで、アンケートでは、宍粟市産のお米や野菜を主に食べている人の割合の増加ということで、ちょっと数字的にはやや低いですが、どちらを選ぶかとかそういうアンケートとしては一部答えにくいのもあったのではないかと聞いております。学校給食での地産、地場産品使用割合の増加につきましては、宍粟市に関しましては全国や兵庫県に比べますと、もともと高い状況にありました。低くなった要因としましては、やはり高齢化が挙げられると担当からの意見がありまして、高齢化により実際作るけども、流通に乗せるまでの労力というかそれ自体は作れて</p>
-----	--

	<p>も運べない、作れても納入するということができにくくなっているという現状があります。あと、高齢の方の就業率も実際上がっておりまして、農業に早くにシフトされていた方がお仕事をされるという現状があることを聞いております。43 ページ発酵のふるさと宍粟という言葉を知っている人の割合、今回のアンケートでは 60.3%ありまして、前ははまだPRが始まっていなかったということで、こちらの感覚としては割と周知がされているという認識で、担当課のほうは、もう少し上を目指したいということで、令和 10 年度に関しては目標値のほうは 70%を目指していると回答をいただいております。グラフは 47 ページまで載っております。説明は以上になります。</p>
会長	<p>ありがとうございました。アンケート調査について、このご説明に対して、質問ございましたらお願いします。</p>
委員	<p>6 番の歯と口腔のところなんですけれども、3 歳児健診と 12 歳のう歯本数は、数値としては非常にいい数値がでているのでこの結果はすばらしい結果だと思うんですけども、ほかの関係は、対象が 10 代、20 代、ちょっと年齢の幅が広い。これは 3 歳だけ 12 歳だけのデータだと思うんですけど、幅がせまいと、年によって変動が出る可能性が高くなる。今までの推移をみると一様に減っているような感じなんじゃないでしょうか。</p>
事務局	<p>ご質問ありがとうございます。言っていたようにいろんな調査によっても年代が違ったりはするんですけども、この 3 歳児の虫歯と 12 歳については、市や県と比較ができる数値ということで、こちらの数値を今回は使わせていただいております。経年的に見まして宍粟市は子どもさんの虫歯が多いとずっと言われてきておりましたが、比べてみても少しずつ、減ってきておりまして、子どもさんの状態としては改善傾向にあると捉えております。</p>
会長	<p>県のほうでそういう 3 歳と 12 歳というところがあって、やっているものが一般的であるということですか。</p>
事務局	<p>そうですね、ほかの年齢もあるんですけども、この 3 歳と 12 歳っていうのは経年的に県のほうでも見てる数値になっております。他市町との比較もできる数値となっております。</p>
会長	<p>その他の年齢についての何か考察は、この表でだいたい考えていく感じですか。80 歳以上とか、ほかは割と、評価しにくい感じですか。3 歳と 12 歳以外はあまりデータを取っていませんか。</p>
事務局	<p>この計画についてはとっておりませんが、ほかの年齢についても、保健の担当としては評価を別にはしております。</p>
会長	<p>そうしましたら、ほかに質問がございましたらお願いします。</p>
委員	<p>栄養・食生活のところ 7 ページ、ご報告いただいたとおり、かなり厳しい結果だったと思うんですけども、目標値に関しては、よくなるどころか肥満とやせの人の割合については、むしろ増えてると思うんですけども、目標値はこのままでいかれるんでしょうか。かなり厳しいと思います。このまま、肥満の人の割合の減少 30.2%を 23%に変えるというのは、もう今から不可能な目標値になっていると思うんですけども、その辺はどのようにお考えでしょうか。</p>
事務局	<p>はい、今回アンケートをとって、いろんなところの国や県のデータを比</p>

<p>会長</p>	<p>較しながら、やはりその目標としてなかなかもう夢のような目標を立てるといよりも、この会議と次回来年度 3 回する中で評価分析をして、目標値自体もご意見をいただいて考えていきたいと思えます。目標をこれにするにあたって具体的にどうするのかということも踏まえて、アドバイスをいただいて、難しいという印象はありますが考えていきたいと思っております。ありがとうございます。</p> <p>そうしましたら、ほかに意見ありましたらお願いします。なければ、食育というところで、策定時 48.8%、実績値が 47.2%、ちょっと努力が報われてない感じがするんですけど、それについてやっぱりいろいろ働きかけてもなかなか認知されていないんですかね。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございます。いろんな年代の方を対象に、いろんな教室をしています。実際令和 2 年度以降に教室や PR が、コロナの影響もありまして積極的にできない状況があり、食育イベントや教室とか、根強く根気よく PR していくという方向で活動してたんですけど、再開できたのが今年度と前年度途中ぐらいからになってまして、市のイベントのほうもだいたい再開してきていますが、今でもインフルエンザが流行っていると、なかなかしづらいということもあるので、その辺りの PR の仕方とか、あとアドバイスいただいて何か今までと違う方法で PR していったらいいんじゃないかなという印象も持っておりますので、皆さんいかがでしょうか。今後アドバイスをいただけたらなと思えます。</p>
<p>委員</p>	<p>41 ページのところの地産地消についてのコメントのところ、コロナ禍ということで、考察、課題を述べていただいているんですけど、そのほかの先ほどのところでも、食育のことにに関してコロナ禍であったということが、ほかのところにもいろいろ影響していると思うんですけども、これからの課題として、ご説明あれば今後の対策としても検討しやすいのではないかなと思ったんですけどどうでしょうか。</p>
<p>会長 事務局</p>	<p>事務局どうでしょうか。</p> <p>事務局の考察としまして、感覚ではやはり計画を策定したのが平成 31 年 3 月、その後コロナ禍ということで大半をそういう状況の中で中間評価という令和 5 年度を迎えておるんですけども、例えばアルコールにつきましても、この「家飲み」というようなことがあったりして、アルコールを摂取される割合は増えてないんですけども、摂取される方の量が増えている。そういうのは、やはり「家飲み」が定着というかそういう中で、そういう傾向になったのではないかなということで、コロナ禍という影響はほかでも受けているようには考えております。またその辺も、ほかの計画や他市町との状況を確認しながら、ちょっとそういうふうに考察といいますか、記載していければなと考えております。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。そしたら、ほかにご意見どうでしょうか。これからはちょっと、コロナのほうも少しマスクしていればそんなに何か怖い病気でもないなということになってきてますので、参加のほうも見込まれるんじゃないでしょうか。ほかどうでしょうか。いろいろ内容が豊富なんで、チェックが結構難しいですけども。ちょっと僕も今思うところなんですけど、地産地消のところで、何か策定に比べて実績として、宋栗市産のお米や野菜を食べている人の割合が、目標よりも減ってきているんです</p>

事務局	<p>けれど、これについてはどんな感じでしょうかね。このコロナ禍のこともあります。これについては、例えば、スーパーに行ったら何かよその産地のおいしいものがいっぱいあってそれを買ってしまうとか、地産地消の何かアピールみたいなものも結構されてるんですかね。</p> <p>最近ですけどイベントまた地産地消の関係で、11月に市役所北庁舎の駐車場で朝市を開催したんですけども好評で、また引き続き、生産者と地域の方という形でそういうイベント、第2回目を計画するような形になっています。就業率が上がって高齢者もお仕事のほうで遠方になって帰りにスーパーで買って帰るとか、もしかしたら自家野菜をつくるということが難しくなってきたのか、お仕事の関係もあるのではないかなということで、ただそのイベントが引き続き継続してできるようであれば、JAさんのほうも秋のお祭りをしていただいたら、地場の野菜も手にいれたりということがありますので、そういう形でPRをもっとしたりとかいうのも一つかなと思っております。</p>
会長	<p>地産地消のお米、お野菜というのは、購入できる場所はJAさんとか、そういうところに限られるか。</p>
事務局	<p>民間のお店、例えばマックスバリュさんとか、そういうところにも地場野菜のコーナーを以前はなかったんですけど、設けられたりしてその生産地とか、あと宍粟のブランド宍粟産ということでシールが貼られてたりとか、そういう形で一般の宍粟市以外の売場もあるんですけども、それ以外の地域野菜の場所というのが、農協さんのそういうふれあいのお店以外にも、一般のお店にも一角には置いていただけるようになったなというのは、販路を拡大して頂いているかなと思っております。</p>
会長 事務局	<p>目に入らないと買ってくださらない。</p> <p>そうなんです。そういうシールが貼ってあったり、宍粟産というのとか、作られた方の写真があったりとか、お名前が入ってたりとかいうような形で農協さんのほうでされており、皆さん、朝にばあっと買物行かれるんで、すぐ売れてしまうというのはお聞きしています。</p>
会長 事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>会長、先ほどコロナのことがありまして、行動変容というのが、多くの市民の方にありました。外出を控える、また、なるべく言葉を交わさずに物を買うというのが、ここ2年間、マスクのこともありますがそういう中で、購入するにあたって、JAさん等の産直売場に行かれる方は、そこの店に買おうと思って、朝早くから行って買われる方がほとんどだと思います。新鮮なものを先に行って、私、欲しいんだということが、特に高齢者の方、自宅を守っていただいている方には、多く、現在もあると思いますが、ここの数字は特に十何パーセントということで大きな差が出るのは、その期間の行動変容が出た中でのアンケートをとっておるといことなのかなと思います。情報としては、教育委員会学校給食センターがしております「学校給食日本一」というのが新聞でも出たりテレビでも流されたりして、宍粟市給食のすばらしさとか、栄養士及び給食センター調理員の頑張りなどは見ていただいております。ニュースでもいいニュースだったので、いろんなところで情報発信しておるんですが、その上でいざ自分が店に買いに行くとなると、少し買物に行く気持ちが足控えみたいな</p>

	<p>ことがこの間あったかと思い、このアンケートの中では割合の増加ということで、数字としては伸びなかったということは、私としては考えております。ただ、農家の方及び給食等提供される方には農薬等を減らした中、またおいしい宍粟の給食、またおいしい食材ということで、市内市外に提供していただいておりますので、この意欲、生産者の意欲というのは変わらないと思いますので、情報の発信と、あとそれぞれの生活行動の変化に伴って、向上していくのではないかと考えておりますが、これは手を控えることなく続けてまいりたいと思います。ちょっと数字は大きいので残念ではありますが数字としては受け止めたいと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。確かに、目に見える形でも地産地消になっていないと、実際に数字が上がってこない。そこら辺を何か、現実のものとしてとらえていってもらったらいいかな。ほかないでしょうか。</p>
委員	<p>老人クラブでは、百歳体操をやっているんですけども、そういうアンケート項目がちょっと欲しいですね、どれぐらいやっておられるのかね。このアンケートの中に、僕ら週1回やっとなんですけども、何年続けられとるか、その結果、効果が出たとか、そういう、やっぱり毎日のそういういきいき百歳体操が、どれだけ効果が出るとかというようなアンケートも欲しいですね。それからグランドゴルフやるんですけども、グランドゴルフをやっている人とやってない人、どれだけ運動したらいいとか、それから、もう一つはですね、いきいき百歳体操だけでなくそのあと、お茶を飲んで話をするんですね。その会話も健康に非常にいいと、お互いの雑談かもしれないけど、そういうアンケートとかね。病院へよく行ってる老人と外へ出て運動したり、人と話をしたり、ボランティア活動をしているとか、そういうやっぱり結果が出たらそういうふうにしたほうが健康寿命が延びるんやなあというのが分かるようなアンケートをお願いしたいなと思いますね。</p>
事務局	<p>はい、ありがとうございます。担当では百歳体操が平成25年からモデル事業で始まりまして、だぶん統計的なアンケートも皆さん取らせていただいて、やはり効果というのはアンケート的にも体力測定とかしても出ておりますので、その辺りをまた、定期的に小さくはまとめているんですけども、こういう計画の中で考察の中で、そういうことも入れていきたいと思っております。ありがとうございます。</p>
委員	<p>27 ページ健康管理、特定健診、がんにはちょっと関心があるんですが、これもまあコロナ禍で割と健診を受けなかったというのがよく言われていますので減るとるんじゃないと思うんですが、そういうことなんですか、コロナの影響ですか。</p>
事務局	<p>一概にコロナの影響だけとは評価ができておりませんがコロナ禍になってから、今回特定健診の受診率を見ますと41.0%で、令和4年度は大きく下がってないように見えるんですが、その前2年間は受診率も減っております。それとあわせてがん検診についても、特定健診と同日に実施しているものについては受診率が下がっておりますし、特定健診、基本健診を受けるけれどもそれに付随するほかのものは最低限にしておこうという気持ちが働くのか、がん検診の受診者数がコロナと同時に減っているのも事実ではあります。</p>

委員	<p>2人に1人ががんとと言われる時代で私の周りも乳がんとか前立腺がんとかは、日常聞くんですけれども、この胃がんがちょっとほかのは30何%あるんですが、胃がんが特に少ないのはどうしてなのでしょう。胃がんが10.5%、14.4%、それから平成29年度では肺がんが42%、ほかのがんは32%となっていますが、なぜ胃がんだけは14%から10%なんですか。そこはどのような風に分析されてますか。</p>
事務局	<p>胃がん検診が現在、胃透視検査といってバリウムの検査になりまして、バリウムの検査が誤嚥を起こしやすいということで、嚥下機能が落ちてくるとちょっと難しいので対象者を79歳までの方ということにしております。それとかかりつけ医さんで胃カメラを受けられる方が年々増えておりまして、胃の症状のある方に関しては、かかりつけ医か、かかりつけ医の紹介で胃カメラを受ける方が増えている印象なんですけども、そういう状況にありまして、この胃がん検診については、胃透視検査で集団健診のみを上げておりますので、そういう形で受診者の全体が減っていて、その中の80歳以上の方は、胃透視検査は卒業されたという状況もありまして、ちょっと年々減少傾向ということは把握はしております。</p>
委員	<p>特定健診ではなく直接、専門病院にかかれた人は、ここにはでてないですね。特定健診ではなくアンケートに専門病院へ行った人たちも入れてもろたら、トータルで市民のうちの何人が、がん検診を受けてるかということがデータとして出てくるんじゃないかと思いますね。もうちょっとアンケートを特定健診だけにするんじゃないしに、専門病院とかそれから胃カメラだとか、それらを含めて出されたほうが、正確なアンケートが出るんじゃないかと思います。いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。以前はそれが把握したくて、全数のご家庭にアンケートを配布して、特定健診、がん検診を受けない方も受けない理由を聞いていたんですけども、なかなかそういう形のアンケートが難しくなりました。ちょっと10年前ぐらいからは、検診の希望者だけのアンケートというふうに変ってきたんですけど、私たちも把握したいという思いもありますので、アンケートということの一部の方の情報も含めてちょっと考えていきたいと思います。</p>
会長 委員	<p>ありがとうございます。ほかないでしょうか。</p> <p>29ページ、1番数値が悪い、1番下の食生活改善推進員や地域ボランティアの数値ですけれども、大幅にダウンしてるんですが、これ私のグループいずみ会でも1番苦労してる所です。ほとんどの方が男性も女性も70歳までくらい働く時代になってしまっているんで、今現在でも80過ぎの方にも頑張ってもらってるんですけども、その人がもういずれ勇退されると思うんですね。この辺の取組についてね、私も女性ばかりじゃなしに、男性のほうに私も目を向けて、ちょっと進めよんですけれども、具体的な何かいい方法があったら皆さん意見をいただきたいんですけどね。これはもう全国的な問題です。</p>
事務局	<p>委員がおっしゃったボランティアの地域における活動というのは健康福祉に限らず、全ての分野において、昭和の時代と今令和の時代になりましたけれども、昭和60年代の私たちの生活と30年たった今が平成35年で令和5年ですけども、大きく変わりました。細かくは言いませんがこんなに</p>

	<p>パソコンが普及するとか、1人1台スマホを持つとか、70歳まで働くとかってというような時代が大きく変わった中で、自分の時間をボランティアでいただくとか、それとか食に関する奉仕的な地域貢献をするっていうのは、その部分では食育、健康だけにかかわらず、市政全般、それぞれの生活の中でも、ボランティアのほうとして時間をいただいているけども、前よりは限りある時間の中で、また、奉仕の提供するチャンスがないということを知っています。いずみ会活動においても、新聞、テレビ、全国の表彰等もいただく中、宣言的な活動をいただいておりますが、ただそこにある母数の支援の方のやっぱり広がりっていうのも心配されるのでありますので、これは食生活推進に限らず健康づくり、また健康の支援、いろんな裾野の広がりということでもありますので、こういうことについて今ご出席の皆さんからも意見をいただきまして、それぞれの立場がありそれぞれご活躍されると思うんですが、裾野の広がりというのがやはり健康とか生きがいづくりは大事なところがありますので、もしここで自分の所属の中でこんな取組をしてるんだとしたら、こういうことを新たにしているんだということをご示唆いただければ、私ども事務局としても今後の健康づくりの在り方について検討したり、また新たな施策であったり、ご支援とかお願いとかさせていただきたいと思うんですが、ここのボランティア活動の割合というのは、残念ながらどの部門、どの部署においてもそこは低下傾向にあります。もし、よければ皆さんからのご意見もいただきたいと思っておりますので、会長ここでいただいてもよろしいでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p>お願いいたします。関連したボランティアとかしていただいている団体に現状とかご報告をお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>私も配食のほうをしておりました。それで私の場合はちょっと、いろんなところに手を出しすぎて、間に合わなくなって申し訳ございませんと言うて辞めさせていただいた。そのあと何か、私がぬけただけじゃなくて減ったようで、私がやめて4年のちですか、そしたら本当に減少して困ってますって言われたんですね。それで民生委員の方とかに何か会合があったときに、そういう話もされてるようなんです。でもなかなか集まらないから困ってますということだったんで、もうちょっと手を狭めて、そっこのほうに協力しようかなあとは思ってますけど、その呼びかけを何かしてる、呼びかけされてるっていうことは周知されてないみたいなんで、もうちょっと何かアピールっていうかね、ボランティアの募集っていうんでしようかね、広報には載ってるんですけど、ちっちゃく載ってたり、もうちょっとアピールがあったらなあと思うんですけどね。</p>
<p>会長</p>	<p>この宍粟市もかなり高齢化してますんで、活動できる今まで頑張っておられた方がリタイアされたりという格好で、次の世代を育てられないみたいですね。そういう掘り起こしが難しい。ある程度の年齢の方やったらやっぱり生活もあるんで仕事も行かないといけないとかいろんなことがあって、ボランティアになかなか積極的にかかわれない人もあったりするんだと思うんですけど、そこら辺また呼びかけをお願いいたします。いずみ会のほうもやっぱり人が少なくなっておられるんですか。</p>
<p>委員</p>	<p>部長のほうから話ありましたが、全国ではね、推進委員がたくさんおられるんですね。104歳でね、活動される方もおって、全国ではね。</p>

<p>会長</p>	<p>そういうことで宍粟市に関しても、ある程度、機動力がないとね、要するに車運転ができないと無理な点もあるんです。そういうこともあって、辞退される人も多いしね。それから、どういうふうにもね、増やそうとすれば、あとひとり暮らしの男性の方も多いでね、そういったことをちょっと私お願いして、推進リーダーを養成してやっていこうかなと思ってますけどね。</p> <p>よろしくお願ひいたします。ほか、意見どうでしょうか。いろいろ活発に意見を頂いて、だいたいこのアンケートについて、ある程度内容はつかめてきたような感じがいたしますが、これはどうなのかなというところがあればお願ひします。もう今のところないようでしたら、以上で質問については終わりにさせていただきます。そしたら事務局お願ひします。</p>
<p>事務局</p>	<p>会長、議事進行ありがとうございました。それでは5番の閉会に移りたいと思います。閉会にあたりまして千歳副会長様、閉会のあいさつをお願ひします。</p>
<p>副会長</p>	<p>本日は中間評価アンケート、1271名の市民の方々に回答いただいたご意見をまとめていただき、事務局の方々ありがとうございました。それらをもとに、今日活発な意見が交換されたのではないのでしょうか。課題もたくさん見つかりまして、これらをまた今年度、来年度、それぞれの職場もしくは組織に持ち帰って今後どうすればよいのか、この課題に向けた具体的な取組をそれぞれ考えて、次の3月のこの会議を、楽しみにしておきたいと思ひます。本日はどうもありがとうございました。</p>

\* 発言者の表記は、「会長」、「副会長」、「委員」、「事務局」とする。